

## 長嶋、釜本、そして尾崎

豊澤 幸平

昨年、長嶋茂雄、釜本邦茂そして尾崎将司が亡くなった。彼らは昭和、平成を代表する日本スポーツ界のレジェンド、まさに巨星墜つである。野球、サッカー、ゴルフの分野を象徴するスター選手、各競技を日本、日本人に定着させ拡大させた中心人物であった。長嶋はミスター、尾崎はジャンボの愛称で呼ばれており、日本中で愛され国民的な認知度は極めて高かった。

記録面をみても圧倒的な成績、記録を残しているが、記憶に残る偉業も達成している。天覧試合での劇的サヨナラホームラン、メキシコ五輪での得点王と銅メダル（現在に至るまで日本五輪史上唯一のメダル）、ツアー九四勝（二位は青木の五一勝）。「記録」と「記憶」の両面で偉大な仕事を成し遂げている。

時代背景で考えると、昭和から平成のバブルを含む高度経済成長期の夢を背負うスパーヒーロー。テレビを含めたメディアでのプレイと言葉での発信力は圧倒的な存在感を發揮した。

三人は現役引退後も大きな影響力を残し後進の育成に力を發揮した。松井秀喜（巨人、ヤンキース）の育成、ガンバ大阪の監督での活躍。特に尾崎はジャンボアカデミーというスクールを開設、一流プロゴルファー育成で卓越した実績を残している。彼らはジャンボ軍団と呼ばれている。現在女子ゴルフ界で大活躍している原英莉花、西郷真央、笹生優花、佐久間朱莉はジャンボに心酔、日本また世界で羽ばたきメジャーのタイトルを次々獲得している。

昨年は「昭和一〇〇年」であったが、期せずしてその年に三人が亡くなったことで、スポーツ界での「昭和は終わった」ともいえる。

さて四十年後の二〇六六年頃に現在を振り返り、あのスポーツ選手は凄かったという話題になった時に誰を思いつくだろうか。イチロー或いは大谷翔平か、松山英樹か、サッカーでは思いつかない。今年はサッカーワールドカップが開催されるが、ここで日本が歴史に名を残す成績を達成、スーパースターが出現し夢と希望を与えて欲しい。

（二〇二六年二月）